

政策名	3夢のふくらむ港		責任者	港営部 関連事業担当課長	連携担当課
基本施策名	04うるおいと魅力のある港湾空間の形成				
個別施策名	14スポーツ・レクリエーションの場を充実する		連絡先	052-654-7836	
事務事業名	02運動施設・緑地等の管理運営				

1 PLAN(目的・概要)

目的	運動施設・緑地等(ガーデンふ頭臨港緑園、富浜緑地、新舞子マリンパーク等、計19緑地、約173ha)を効率的・効果的に管理運営し、多くの人々が利用する施設にします。	事業期間	平成18年度～継続
概要	定例的な連絡調整会議やモニタリングにより、指定管理者への指導・助言を行い、施設の良好な維持管理と高質な利用者サービスを提供します。	根拠法令・要綱等	指定管理者による公の施設の管理に関する条例、名古屋港管理組合臨港緑地条例
		実施義務	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無

2 DO(実施)

22年度の実施内容 【及び23年度の実施予定】	【22年度実施内容】 ①定例的な連絡調整会議と毎月・四半期毎・年度でモニタリングを行いました。 ②利用者数向上のため、ゴルフ場では多彩な競技会を開催しました。 ③22年度からの指定管理2期目は民間企業が2者新規参入し、指定管理料が低廉化されました(21年度比 △121,618千円)。 ④ゴルフ場収支 収入504,096,479円、支出492,157,835円、収支差額11,938,644円 ※収支差額は翌年度に全額が本組合に納付され、臨港緑地の高質化に役立てられるよう環境振興基金に積み立てられます。 【23年度実施予定】 22年度に引き続き、定例的な会議、モニタリングなどを通じて、指導・助言を行っていきます。									
	活動指標	年度	19	20	21	22	23	中間目標	24	備考(指標の算定方法など)
定例の会議・モニタリング回数	単位	目標	39	39	39	39	63		63	22年度から指定管理者が3者となったことによる増加
	回	実績	40	39	40	70				
競技会開催回数(ゴルフ場)	単位	目標	120	120	120	120	120		120	
	回	実績	146	124	130	140				
事業費	千円		346,576	326,271	292,517	170,899	181,570			22年度から指定管理者が3者となったことによる業務量の増加
人員	正規職員	人	1.20	1.20	1.20	1.93	1.93			
	嘱託職員	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00			
人件費相当額	千円		10,422	10,524	10,298	16,368	16,920			
事業費・人件費の合計	千円		356,998	336,795	302,815	187,267	198,490			

3 CHECK(検証)

決算ベース(H22は見込) ← 予算ベース

成果指標	年度	19	20	21	22	23	中間目標	24	備考(指標の算定方法など)	
利用者数(ゴルフ場)	単位	目標	50	50	50	50	50	50		
	千人	実績	47	50	48	46				
	達成率(%)		94.0	100.0	96.0	92.0				
利用者数(ゴルフ場を除く)	単位	目標	430	430	440	440	440	440		
	千人	実績	440	440	454	431				
	達成率(%)		102.3	102.3	103.2	98.0				
観点	課題の有無	現状の「見える化」							その他特記事項	
必要性	組合関与の必要性	有・無	指定管理者が公の施設を良好に維持管理できるよう、定例的な会議、モニタリングは必要と考えます。							
	目的・水準の妥当性	有・無	競技会の内容などの専門性の高いものについては、指定管理者の提案によることとなりますが、告知のタイミングなどは、協議して行うことにより、より良いものになると考えており、ひいては、利用者増につながると考えています。							
有効性	成果の達成度	有・無	22年度は6月の長雨と夏の記録的な猛暑で利用者数が減少しましたが、定例的な会議やモニタリングは有効と考えており、引き続き指定管理者に対して、良好な維持管理が行えるよう、指導・助言を行っていきます。							
	内容の妥当性	有・無								
効率性	実施主体の妥当性	有・無								
	受益者負担の適正性	有・無	定例的な会議は、22年8月までは会議室を有償で借りて開催していましたが、同年9月からは庁舎内での開催に変更しましたので、経済性はあがりました。							
	経済性	有・無								

4 ACTION(取組)

今後の事務事業の方向性	今後の取組の方向性		今後の取組の方向性の判断理由
継続	成果	コスト	本施設は3つの指定管理者により、良好に運営されているため。
	維持	維持	
今後の取組内容(改善策、スケジュールの建て直し等)			
施設の良好な維持管理と高質な利用者サービスが提供できるよう、引き続き、指定管理者への指導・助言を行っていきます。			